

平成29年度 事後評価対象事業一覧表

平成29年6月作成

整理番号	事業計画				該当基準	事後評価の評価項目												
	事業名/施設名	事業箇所	事業概要	工期 着工 完了			事業費 (億円)											
道建-1	道路改築事業/一般国道206号(小迎バイパス)	西海市	延長 6.1km 幅員 7.0(10.5)m	H13 H24	210.9	<p>費用対効果の選定の基礎となった要因の変化</p> <table border="0"> <tr> <td>【再評価時(H22)】</td> <td>【事後評価時】</td> </tr> <tr> <td>・B/C 1.20</td> <td>→ 1.24</td> </tr> <tr> <td>・工期 H24</td> <td>→ H24</td> </tr> <tr> <td>・事業費 216.4億円</td> <td>→ 210.9億円</td> </tr> <tr> <td>・交通量 12,500台/日(H42推計)</td> <td>→ 12,700台/日(H42推計)</td> </tr> </table> <p>事業の効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞の解消 小迎交差点における最大渋滞長 L=180m(H23) ⇒ L=30m(H25) ・所要時間の短縮 指方~大串間19分(H23) ⇒ 13分(H25) <p>再評価実施</p> <p>全体事業費10億円以上</p> <p>事業完了後5年経過</p> <p>事業実施による環境の変化 特になし</p> <p>社会経済情勢の変化 平成17年1月4日に、西彼町・西海町・大島町・崎戸町・大瀬戸町の5町が合併し西海市となり、旧5町の連携を活かした町づくりを進めている。</p> <p>対応方針(原案)</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">当該事業に係わる対応方針 (今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性)</td> <td style="text-align: center;">同種事業に係わる対応方針 (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性)</td> </tr> </table> <p>この事業により、交通渋滞の緩和や所要時間の短縮などが図られており、通過交通の転換により地域住民の住居環境も向上するなどの効果もみられることから、今後事後評価及び改善の必要はない。</p> <p>今後は走行時間短縮や走行経費、交通事故減少に限らず、企業進出や定住人口の拡大等の効果も評価に含めていくべきと考える。</p>	【再評価時(H22)】	【事後評価時】	・B/C 1.20	→ 1.24	・工期 H24	→ H24	・事業費 216.4億円	→ 210.9億円	・交通量 12,500台/日(H42推計)	→ 12,700台/日(H42推計)	当該事業に係わる対応方針 (今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性)	同種事業に係わる対応方針 (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性)
【再評価時(H22)】	【事後評価時】																	
・B/C 1.20	→ 1.24																	
・工期 H24	→ H24																	
・事業費 216.4億円	→ 210.9億円																	
・交通量 12,500台/日(H42推計)	→ 12,700台/日(H42推計)																	
当該事業に係わる対応方針 (今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性)	同種事業に係わる対応方針 (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性)																	

別記7(事後評価)

整理番号	事業計画					該当基準	事後評価の評価項目														
	事業名/施設名	事業箇所	事業概要	工期					事業費 (億円)												
				着工	完了																
砂防-1	高野地区地すべり対策事業/地すべり防止施設	松浦市	集水井工 N=6基 集水ボーリング N=101本 排水ボーリング N=6本 横ボーリング N=76本 杭工 N=437本 アンカー工 N=13本	S62	H24	14.0	<p>費用対効果の選定の基礎となった要因の変化</p> <table border="0"> <tr> <td>【再評価時(H20)】</td> <td>【事後評価時(H29)】</td> </tr> <tr> <td>・B/C 12.76</td> <td>→ 14.24</td> </tr> <tr> <td>・工期 H23</td> <td>→ H24</td> </tr> <tr> <td>・事業費 13.5億円</td> <td>→ 14.0億円</td> </tr> <tr> <td>・保全対象人家 496戸</td> <td>→ 503戸</td> </tr> </table> <p>事業の効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業概成後、地すべり活動は沈静化しており事業効果の発現が認められる。 <p>再評価実施 全体事業費 10億円以上 事業完了後 5年経過</p> <p>事業実施による環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>社会経済情勢の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年1月1日、旧町合併により松浦市となった。 <p>対応方針(原案)</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">当該事業に係わる対応方針 (今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性)</td> <td style="text-align: center;">同種事業に係わる対応方針 (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性)</td> </tr> <tr> <td>・事業概成後は地すべり被害は発生しておらず、事業効果が発現されているため、今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性はない。</td> <td>・当該事業においては、公共残土を他事業に流用するなど、残土運搬処分のコスト縮減を図っており、同種事業においても、公共事業の動向を把握し調整を行うことでコスト縮減を図る必要がある。</td> </tr> </table>	【再評価時(H20)】	【事後評価時(H29)】	・B/C 12.76	→ 14.24	・工期 H23	→ H24	・事業費 13.5億円	→ 14.0億円	・保全対象人家 496戸	→ 503戸	当該事業に係わる対応方針 (今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性)	同種事業に係わる対応方針 (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性)	・事業概成後は地すべり被害は発生しておらず、事業効果が発現されているため、今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性はない。	・当該事業においては、公共残土を他事業に流用するなど、残土運搬処分のコスト縮減を図っており、同種事業においても、公共事業の動向を把握し調整を行うことでコスト縮減を図る必要がある。
【再評価時(H20)】	【事後評価時(H29)】																				
・B/C 12.76	→ 14.24																				
・工期 H23	→ H24																				
・事業費 13.5億円	→ 14.0億円																				
・保全対象人家 496戸	→ 503戸																				
当該事業に係わる対応方針 (今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性)	同種事業に係わる対応方針 (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性)																				
・事業概成後は地すべり被害は発生しておらず、事業効果が発現されているため、今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性はない。	・当該事業においては、公共残土を他事業に流用するなど、残土運搬処分のコスト縮減を図っており、同種事業においても、公共事業の動向を把握し調整を行うことでコスト縮減を図る必要がある。																				